

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	重いアリアルアニオンが拓く新しい典型元素化学と材料化学
研究代表者	<p>時任 宣博 (京都大学・化学研究所・教授)</p> <p>※令和元(2019)年7月末現在</p>
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>応募者らはこれまでに、ケイ素あるいはゲルマニウムのような重原子で炭素原子を置換したベンゼンアニオンを合成するにあたって、かさ高い安定化基を用いない方法を開発している。本研究はこの方法論と化合物をもとにして、「重いベンゼンアニオン」の構造、物性、化学反応性、機能についての研究を展開しようとするものである。</p> <p>このベンゼンアニオンの合成においては、かさ高い安定化基ではなく電荷反発などを用いることから、ベンゼン環上における化学修飾の自由度が増大するため、様々な誘導体を得ることができ、典型元素化学の観点から系統的な研究を行うことが可能となる。本研究を推進することで、単純なベンゼンアニオンとの比較による新しい芳香族化学の発展が期待できる。</p>